亚式25名	F度事務事業評	(価シート	該当事業(評	平価対象外事業は基Z	
十八人20年	F及争伤争未計		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
	落事業名	[8130](介保)	成年後見制度和	引用支援事業	
予	算科目		項 5目		
	での位置付け	高齢者対策の		実~やすらぎとぬくも「	
所管	管課情報	担当課:	長寿介護課	電話番号(内線):	: 544
	人者情報		冨岡 保裕	担当責任者:	野島 孝美
事第	美の性格	法定事務			
実	施期間	【開始年度】 平	成 21 年度	【開始年度】設定なし	
事業	きの対象	判断能力が十	分でない高齢者	<u>.</u> 	
根拠法令等	介護保険法・伊予市成	年後見制度利用	支援事業実施要綱		
事業の目的	判断能力が十分でない	い高齢者の生活の	自立援助を行う。		
事業の内容	判断能力が十分でない 行い、申立て費用及ひ			D申立てが望めない場合(: 助成を行う。	に限り、市長が申立てを
改善策の 具体的 取り組み (当初)				るために必要な事業であり する担当者の配置が必要	
改善策の 具体的 取り組み					

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
	直接事業費	0	968	0	7
事業費	人件費	799	813	406	1,627
	合計	0	1,781	406	1,634
	人工数	0.10	0.10	0.05	0.20
人件費	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	799	813	406	1,627
	国庫支出金	0	382	0	3
	県支出金	0	191	0	1
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	203	0	1
	一般財源	799	1,005	406	1,629

	事業活	動の実績(活動	カ指標)		
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
事業実施件数	件	0	2	0	1

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
任由	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
十戌	968	968	968	968	968	4,840

		成果指標		
成果指標	成年後見制度により市長申	3立てを行った件数		
指標設定の 考え方	申し立て内容及び経緯等の)把握及び申立て件数		
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	2件	2件	2件	0
実 績	0件	1件	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性 5		
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
		市の関与の妥当性	4	
自己評価		事業の効果	4	
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性	3	В
(担当具任任)		施策への貢献度	3	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	3	В
		受益者負担の適正	3	,
	家族や親族の援助が行	导られない高齢者が増えており、市長申立の事案も増加	すると思われ	るため、引き
	続き成年後見制度利用	月支援事業は必要であると考える。		

課題認識

		一次評価		
		目的の妥当性	5	
	妥当性	市民ニーズへの対応	4	В
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	4	В
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	3	
(別為文)		施策への貢献度	3	
		手段の最適性	4	
	効率性	コスト効率	3	С
		受益者負担の適正	2	

家族や親族の援助が得られない高齢者が成年後見制度を利用するための事業である。援助が得られない高齢者はこれからも増加することが見込まれ、市長申立の事案も増加すると思われる。制度上、この事業を効率的に進めることは困難であるが、早期に対応できるよう取り組むことが必要である。

課題認識

	二次評価
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	